

ECU表示パネルがクッキリ表示、しかも画面は簡単カスタマイズできる

屋外で使う表示パネルの画面、ちゃんと見えていますか？

現状

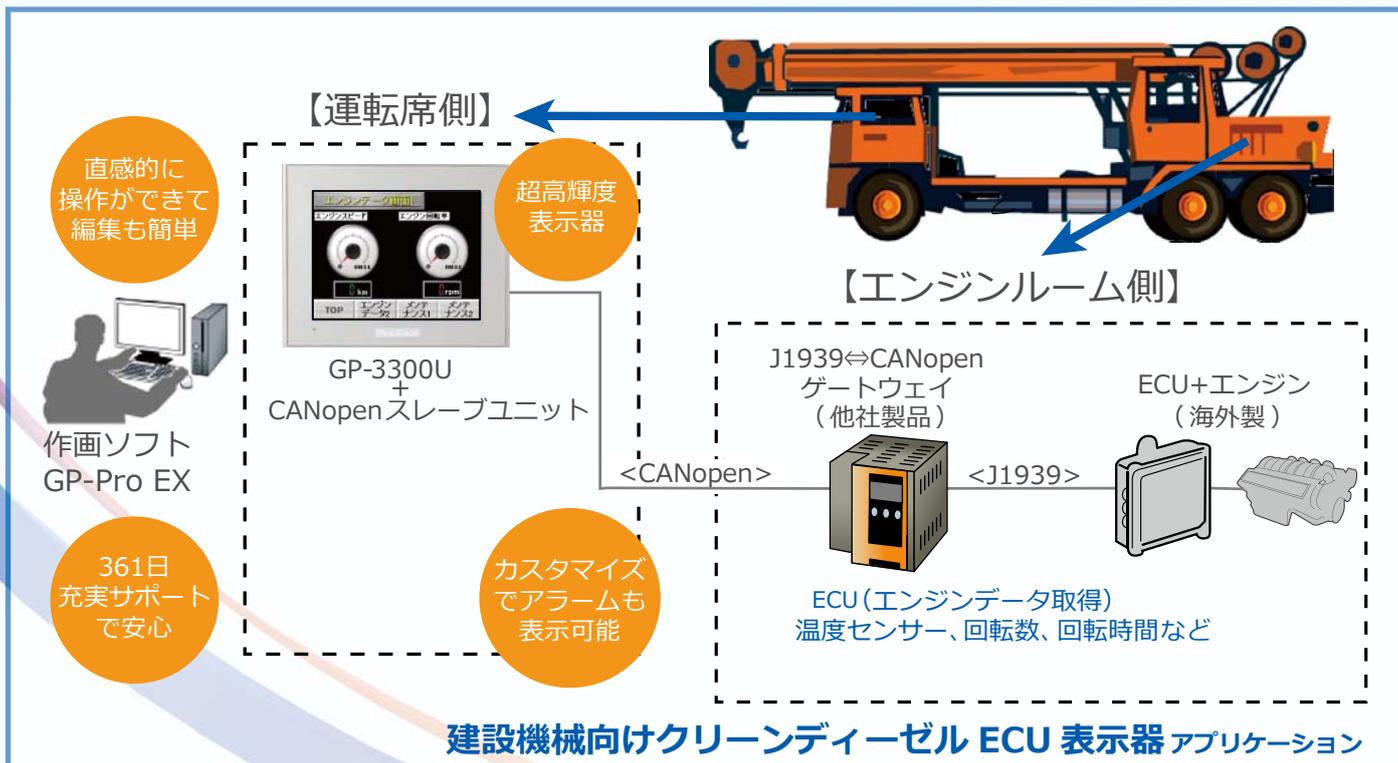
特殊車両開発設計ご担当者さまのケース

- ・表示部を特殊車両の運転席に設置すると、太陽光で画面が見えない。
- ・表示内容のカスタマイズが簡単にできない。
- ・海外製品のため画面作成が難解。さらに、国内でのサポートがない。



ご提案

そんなあなたに朗報です。
屋外でもクッキリ見える表示パネルで、視認性を確保。
さらに国内サポート&日本語の作画ソフトで簡単に編集。



ご紹介した提案内容は、お客様の状況により実際のアプリケーションが異なります。詳しくは営業までお問い合わせください。



特殊車両開発設計
ご担当
深見様 (仮名) / 長野県

特殊車両に設置した表示部が太陽光に反射して見えない。その上、海外製品だから、カスタマイズも大変。サポートも国内では受けることができない・・・。
そんなお悩みを無事解決された特殊車両設計開発ご担当者さまの事例をご紹介します。

パネルの輝度が低くて、屋外では見えないし、海外製品だから、取扱いがむずしかくて・・・。

特殊車両（建設機械）を開発・設計しているんですが、ディーゼル車に対しての排ガス規制のおかげ？で主に、負荷率・エンジン回転数・ドリル回転数・回転時間・穴あけの深さなどの情報が必要で・・・。
そのために、海外からECUと表示パネルを購入して設計したんですが、これがまたパネルの輝度が低くて屋外ではまったく見えない。
しかもソフトが日本語非対応なので、画面作成が手間で、編集しようにもすべて英語だから理解するのも四苦八苦。もちろんカスタマーセンターは海外にしかなく聞くに聞けなくて。

屋外でも画面がクッキリ見えて、太陽光が強くても見間違えることがなくなりました。

どうにかこの悩みを解決できないものかと色々探していたとき、偶然デジタルの営業員から、「太陽光に強いPro-face製品あります！」って紹介されたんです。
半信半疑でしたが、屋外でデモ機を見せてもらって納得。今まで使っていた海外製の表示パネルとは比較にならない位、太陽光が強い場所でも画面がクッキリ見えたんです！
画面が見づらいと見間違えることが多々あって、とって不便だったのですが、今では遠くからでも画面確認できるようになり太陽光が気にならなくなりました。



運転席画面

エンジンデータ以外にもアラームデータが表示できるようになりました。

もちろん、ソフトも日本語対応なので、カスタマイズも簡単。ECUデータ以外にも、アラームデータも簡単に表示できるようになりました。
さらにアラームログを保存できるので、アラーム要因の分析に注力できるようになったことも大きな決め手でした。
国内でサポートも受けられて言語に悩まされることもなくなり、デジタル営業員に相談して本当に良かったです。

ご紹介した事例はこの機種で実現！

低反射&超高輝度モデル画面

従来モデル画面

太陽光の入る場所も、反射をおさえてクッキリ見える！
低反射&「超」高輝度モデル

12.1型 Mクラス
GP-3650U
型式:AGP3650-U1-D24

12.1型 Cクラス (CANopenタイプ)
GP-3600U
型式:AGP3600-U1-D24-CA1M

5.7型 Sクラス
GP-3300U
型式:AGP3300-U1-D24

ご紹介した提案内容は、お客様の状況により実際のアプリケーションが異なります。詳しくは営業までお問い合わせください。

株式会社デジタル
www.proface.co.jp

東京支社：03-5821-1101
中部支社：052-961-3701
西日本支社：06-6613-3111

仙台営業所・北関東営業所・神奈川営業所・長野営業所・豊田支店・北陸営業所・静岡営業所・岡山営業所・広島営業所・四国営業所・九州営業所

製品のご用命は